

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2374000384
事業所名	グループホーム好日庵

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 山間の穏やかな空気が流れる場所に事業所はあります。ホームの名前の由来である「日々是良日」の通り、「毎日がよい日となるよう」この地域に出会えたことに感謝して18年、地域に溶け込んだ暮らしを続けています。例えば、地域の過疎化を懸念して「食べまい会」と名付けた食事会を主催、現在は担当を地域住民に譲ってはいませんが、今でも事業所のフロアでおこなわれています	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 「奇数月の最終週の月曜日」と定めることで漏れなく運営推進会議の実施につなげて、事業所として普段の様子を説明することで貴重な意見を受けとるに至っています。利用者家族をはじめ、区長、民生委員といったメンバーが顔を合わせており、また区長は「食べまい会」のメンバーでもあり、和気藹々とした場として生まれ、定期開催が定着しています	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 東三河広域連合は運営に係る手続きの問い合わせにおける回答が確かで、また地域包括支援センター職員は全ての運営推進会議に足を運んでくださいます。新城市へは運営推進会議の結果を毎回報告するほか、困難事例の相談には都度対応があり、頼りとしています。また事業所のボランティア要員の誘いを兼ねサポーター養成講座を開催するについてもエールを送ってくださっていて、心強い存在です	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 5類に移行となり、日帰りバス旅行が実現しています。家族や地域の協力を得て、孫やひ孫も参加する大きなイベントとなり、利用者も家族も晴れ晴れとした表情が見られ、本年一番のサプライズとなっています。利用者は日常の会話から、家族は運営推進会議や家族会、面会を通じて意見を収受していて、バス旅行はその集大成ともいえます。コロナ禍前には励行されていた年3回の家族会の復活が当面の目標です	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

【備考欄】

--

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○	◎							